



2021年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐野 富和
(コード番号：5698 東証第一部)
問合せ先 取締役 管理管掌 兼 竹川 直希
経営企画部長
(TEL. 0544-21-3160)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月期通期決算発表時に開示した2021年6月期（2020年7月1日～2021年6月30日）の業績予想及び配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2020年7月1日～2021年6月30日）

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円) | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------|--------------|---------------|---------------|------------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 28,860 | 510 | 600 | 410 | 27円84銭 |
| 今回修正予想(B) | 35,700 | 1,000 | 1,250 | 870 | 59円00銭 |
| 増減額(B-A) | 6,840 | 490 | 650 | 460 | |
| 増減率(%) | 23.7 | 96.0 | 108.3 | 112.2 | |
| (参考)前期実績 (2020年6月期) | 33,879 | 790 | 934 | 602 | 41円03銭 |

(2) 修正の理由

長引くコロナ禍により経済の先行きが極めて不透明な状況であるものの、足元の事業環境においては当初想定よりも早い国内外の経済活動再開の動きによる取扱量の回復に加え、中国の旺盛な鉄鋼需要を背景とした鉄スクラップ価格の上昇や、最終処分場逼迫問題の緩和による操業の安定等により、売上高につきましては、前回予想を上回る見込みであります。

営業利益につきましては、廃棄物処理受託価格の是正に加え、生産工程の効率化や、ヤード賃借料等の固定費削減等により、前回予想を上回る見込みであります。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の上振れに加え、持分法投資利益の増加により、前回予想を上回る見込みであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

| | 年間配当金 (円) | | |
|-------------------------|-----------|-----|-----|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前 回 予 想 (2020年8月12日) | 0円 | 10円 | 10円 |
| 今 回 修 正 予 想 | — | 15円 | 15円 |
| 当 期 実 績 | 0円 | | |
| 前 期 実 績 (2020年6月期) | 0円 | 10円 | 10円 |

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして認識し、業績に応じた利益配分、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としています。業績連動利益配分の指標として連結配当性向20～30%を目標として実施してまいります。また上記の連結配当性向に基づく配当金が年間10円を下回る場合にも、年間10円の安定配当を目指す所存です。

この方針のもと、2021年6月期の1株当たりの期末配当金につきましては、10円を前回予想(2020年8月12日開示)しておりましたが、今回の業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を5円増配して15円といたします。従いまして年間の配当予想は15円となります。

なお、本件につきましては、2021年9月開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上